

2024 年度 調査研究の概要

調査研究テーマ	調査研究の概要	委託先／共同研究先
有識者等の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)に対する見方等に関する調査研究業務	厚生労働大臣が定める 2025 年 4 月からの 5 年間を期間とする第 5 期中期目標を受けて、GPIF は第 5 期中期計画を策定しました。GPIF が目指す長期的な方向性や取組を中期計画に盛り込む際の参考とすべく、有識者等の GPIF に対する客観的な見方や期待等を把握するため、2023 年度から 2024 年度にかけて調査研究を行いました。具体的には、有識者等に対するアンケート調査やヒアリング、GPIF について言及された新聞記事等を基にしたテキスト解析を実施し、その成果を同計画策定の際の材料として用いました。	委託先:みずほリサーチ &テクノロジーズ株式 社
インフラ資産の公正価値評価にかかる調査研究	GPIF は、オルタナティブ投資の一環で非上場インフラ資産に投資しています。インフラ資産はオルタナティブ資産の中でも市場の歴史が比較的浅く、公正価値評価の手法、リスク・リターン特性の把握等に関する知見が限られている状況ですが、当法人のポートフォリオ全体の運用について更なる高度化を図るためには、非上場インフラ資産についても、より高度なパフォーマンスおよびリスク分析が求められると考えています。本調査は、非上場インフラ資産に係るデータの体系的な収集・蓄積、リスク・リターン特性の定量的な分析等の検討を行うものであり、今後のオルタナティブ資産の運用における質の一層の向上を目的として、2023 年度から 2024 年度にかけて実施しました。具体的には、委託先が開発した公正価値算出手法の理論的裏付けを確認したほか、かかる手法に基づき、GPIF の投資先(一部)の公正価値の算出を行いました。GPIF では、今後、調査研究の成果を非上場インフラ資産に関するデータの整備や分析に活用していきます。	委託先 : Scientific Infra and Private Assets Ltd.
低流動性資産等に関する調査研究	低流動性資産等については、伝統的資産とは異なる特性のため、正確なリスク・リターンの把握は難しいと言われています。また、運用対象資産としては、GPIF がすでに投資している不動産、インフラストラクチャー、プライベート・エクイティのほかに、近年では森林、農地、金(鉱物)、暗号資産などもあります。こうした近年の新しい低流動性資産等について実態を把握し、基礎的な知見を深めるため、調査研究を実施しました。具体的には、上記の内容に関連する情報提供依頼を行い、提供された多数の情報を踏まえ、市場規模、期待リターン、リスク特性、公的年金基金による投資状況等を整理し、基礎的な知見を深めました。	—